



# 明木公民館だより

《平成25年4月号》

発行・編集/明木公民館

TEL 0838-55-0001

## 入園・入学 おめでとうございます！

✿4月 6日(土) ✿あさひ保育園入園式

✿4月 8日(月) ✿明木小学校入学式

✿4月 8日(月) ✿明木中学校入業式

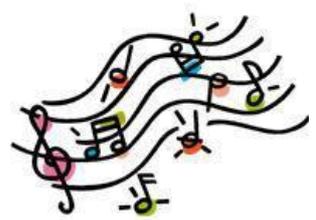


## 4月の行事予定 in マルチメディアセンター

4月3日(水) 19:00~	<b>彦六・又十郎四百年祭実行委員会月例会</b> 「彦六・又十郎四百年祭」が財団法人地域活性化センターの「長寿社会づくりソフト事業費交付金の助成事業」に採択されました！
4月10日(水) 9:30~14:00	<b>明寿会総会</b> アトラクションを検討中とか。お楽しみに！
4月14日(土) 18:30~	<b>桜植樹25周年記念式典</b> : 石の巷山桜保存会主催 桜千本を目指して植樹を始めてから25年。さくら功労者にも選ばれました。
4月19日(金) 19:00~	<b>秋田民謡とシタール~アジアの魂2013~</b> 主催:「萩往還 歌づくりの里推進委員会」 秋田民謡の全国大会13のうち11のタイトルを持つ浅野江里子さんとインドの民族楽器シタールが一度に楽しめるコンサート。 前売券2,500円は明木公民館にあります。
4月25日(木) 19:00~	<b>第1回分館長・体育推進委員合同会議</b> 今年度の事業計画について説明します。

## 旭マルチメディアセンターにピアノがやってきました！

3月2日にソロリサイタルを開かれたヴァイオリニストの大谷康子さんが「ピアノがあれば、もっといろいろな事が出来たのにね」と残念がっておられたと聞きました。早速、中学校の統合で備品を調整中の市教育委員会に「ピアノがほしい」とお願いしたところ、「明木中で使用されていたアップライト(箱型)を3月31日に配備しましょう」と、ウレシイ返事をいただきました(^o^)v。



# 3月のあ・れ・こ・れ

【3月10日（日）緑声会】仕舞練成発表会

「山口鷺流狂言とは？」



「鷺流狂言」は、萩藩狂言方の春日庄作が素人衆に狂言を教え始めたことに始まり、町の人々が相互に稽古をつける「伝習会」によって受け継がれ、大正期には春日庄作の直弟子もいなくなりましたが、伝承されていました。昭和20年代に山口女子短期大学(現:山口県立大学)の故・石川弥一教授の研究を契機として、1954年に保存会が結成され、現在は定期公演も行われています。

恒例の発表会に、山口県指定無形文化財第1号の「山口鷺流狂言保存会」が山口から駆けつけ、太郎冠者と大名の軽妙なやり取りで狂言の世界を紹介・披露しました。萩市社会教育関係団体でもある緑声会は、昨年設立50周年を迎え、さらなる高みに向かって観世流謡曲の習得に励んでいます。

ちなみに、能楽(能と狂言の総称)は2008年にユネスコの無形文化遺産保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されました。



【3月17日（日）明木婦人会総会】

会員による「留袖を囲んで」ショー



明木婦人会は長年にわたり留袖と帯、喪服の貸し出しをしています。虫干しや防虫剤の入れ替えなど管理もバッチリですが、利用者は1年に1人程度と、近年はやや停滞気味。

そこで、今年の総会では、婦人会活動の賜物ともいえる留袖を披露するファッションショーを開きました。浅田会長はじめ会員がモデルとなったショーを見て「やっぱり着物はええね」「なつかしいね」の声が続く。モデルが着なかった着物は会場に展示したので「やっぱり昔のは物がええね」「私はこっこの柄が好き」と、なごやかに会話も弾みました。ショーの後にモデルと裏方で着付けをした会員さんが揃ってハイ！チーズ(^o^)

**今年度の婦人学級・生産学級の開講が決定！お楽しみに！！**

【生産学級】日時：5月9日(木)午前9時から

内容：萩市役所樹木医の草野さんとバスで市内の「気になる木」を見学

【婦人学級】日時：5月16日(木)午前9時から

内容：厚生労働省で放射能施設の検査を担当していた木村秀喜教授(下関短期大学)が東日本大震災の後、風評被害も出た「食の安心・安全」について講演